

令和8年度 外部評価 せん定枝リサイクルプラント事業

令和8年9月28日

ごみ資源循環課・農務課



1 事業の概要など

2 事業の活動実績など

3 事業の活動指標と成果指標

4 事業の課題と論点

5 eモニターアンケートの結果



1 事業の概要など

(1)施設の概要

所在地

安城市赤松町東向111番地2

竣工時期

平成13年3月29日

(農務課所管施設として建設)

敷地面積／延床面積

4,813㎡／1,469㎡

処理能力

4.8t／日

整備費

565,829千円

(うち141,398千円国庫補助)



1 事業の概要など

(2)施設の役割



たい肥の栄養分は
乏しく、土壌改良
剤として利用

せん定枝をたい肥化し、農家等に利用してもらうことで、
資源を有効利用し、環境保全型農業を推進する

1 事業の概要など

2 事業の活動実績など

3 事業の活動指標と成果指標

4 事業の課題と論点

5 eモニターアンケートの結果



2 事業の活動実績など

(1) 搬入、搬出の状況【令和7年度】

搬入量			搬出量		
件数		20,760件	件数		2,370件
数量	一般	628t	数量	たい肥	794t
	造園業者	1,377t		チップ	11t
	事業所	13t		丸太	205t
	果樹農家	93t		焼却	965t
	公共	61t		合計	1,975t
	合計	2,172t			

- 搬入量のうち、たい肥化されているのは半分未満
- 処理能力超過分(約半分)は焼却処理



2 事業の活動実績など

(2)事業費の内訳【令和7年度】

区分	金額(千円)	構成比
需用費	12,222	17.1%
消耗品費(機械部品等)	(4,580)	
燃料費・光熱水費	(4,069)	
修繕料	(3,573)	
役務費(槽清掃、計量受付派遣業務等)	4,518	6.3%
委託料(施設運転管理業務等)	39,951	56.0%
その他	56	0.1%
人件費(職員2名)	14,600	20.5%
総事業費…①	71,347	
歳入(せん定枝処理手数料)…②	11,238	
処理コスト(①－②)	60,109	



1 事業の概要など

2 事業の活動実績など

3 事業の活動指標と成果指標

4 事業の課題と論点

5 eモニターアンケートの結果



3 事業の活動指標と成果指標

(1)活動指標(せん定枝の有効利用量)

令和7年度 (実績)
1,009t

※たい肥、チップ、丸太の配布量

(2)成果指標(たい肥の提供による環境保全型農業の実施率)

令和7年度 (実績)
5.4%

※たい肥の提供を受けた農家数(44人)
÷市内農家数(822人)



1 事業の概要など

2 事業の活動実績など

3 事業の活動指標と成果指標

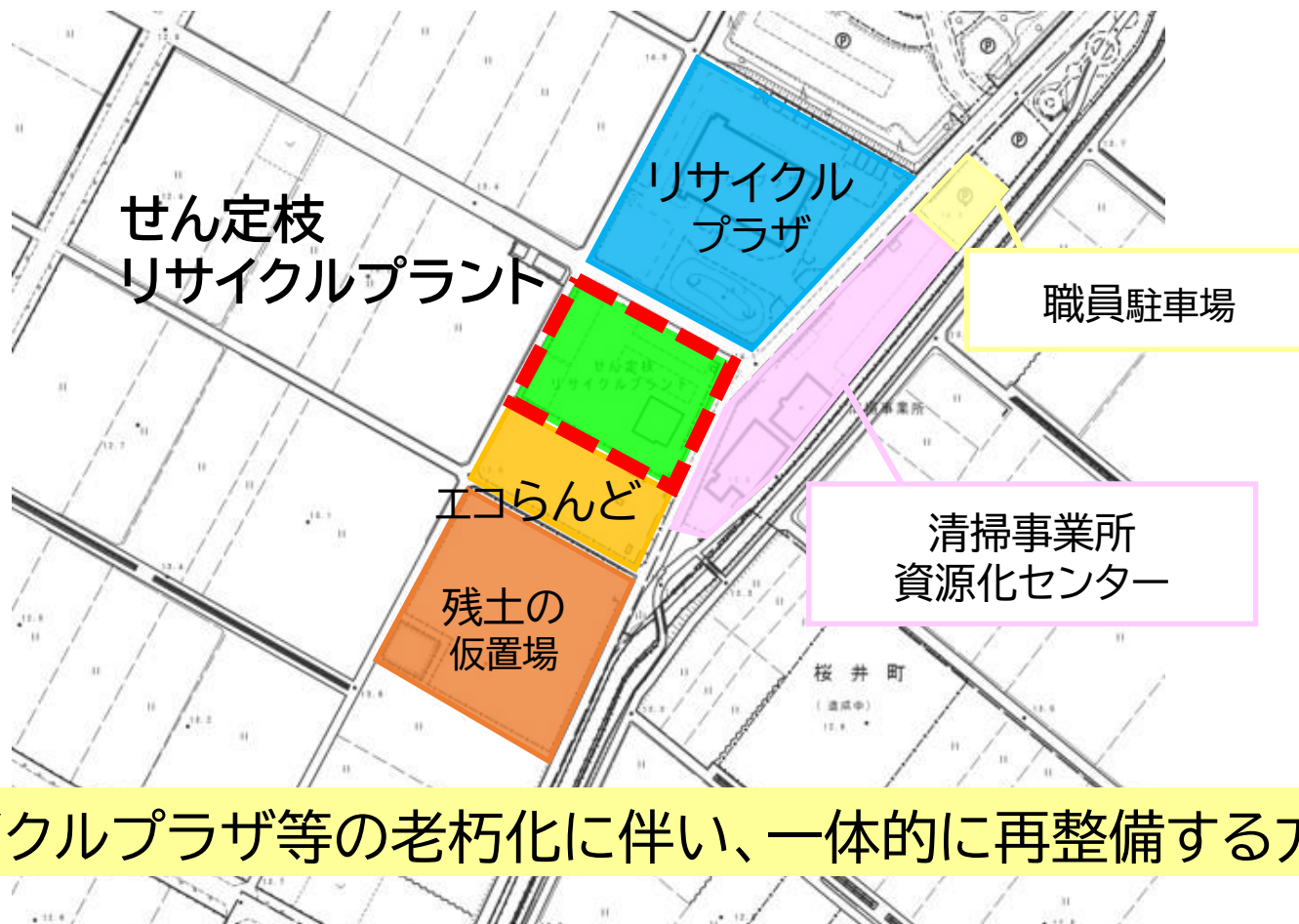
4 事業の課題と論点

5 eモニターアンケートの結果



4 事業の課題と論点

(1)課題1 ごみ関連施設の一体的な再整備に向け、プラントのあり方を決定する必要がある

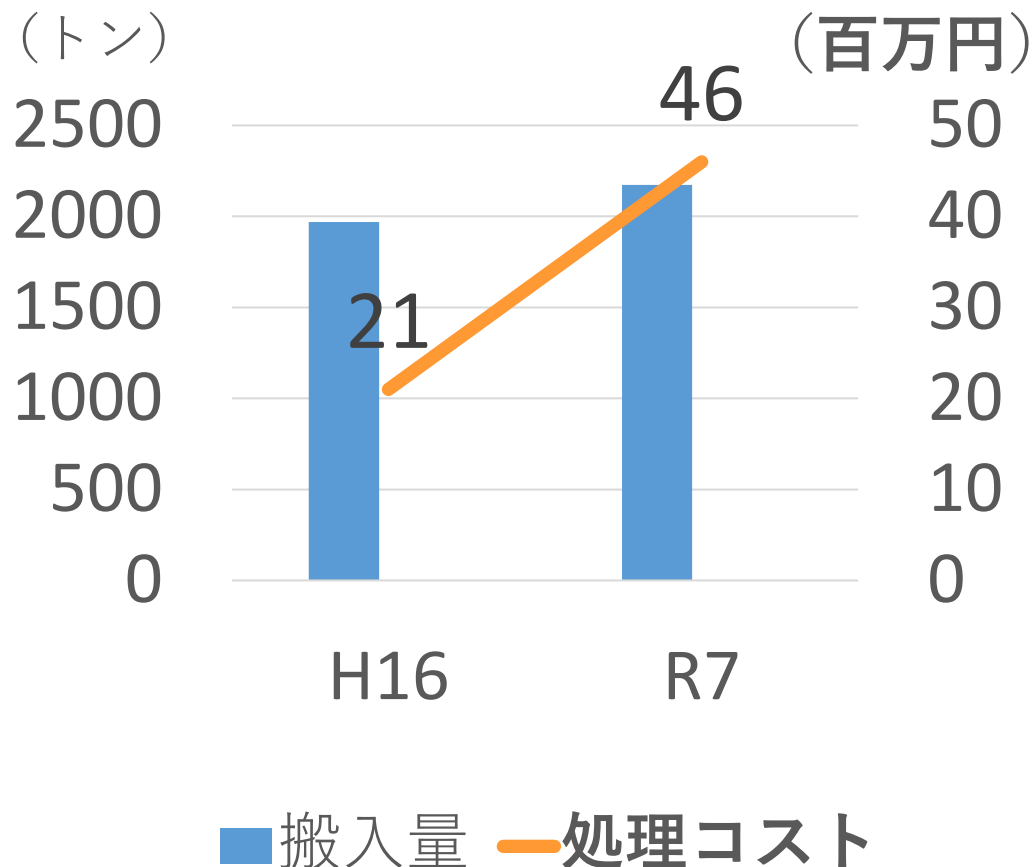


リサイクルプラザ等の老朽化に伴い、一体的に再整備する方針



4 事業の課題と論点

(2)課題2 処理コストが増加傾向にある



4 事業の課題と論点

(3)課題3 受益者が限定されている

搬出たい肥量(無償配布)の内訳【令和7年度】

搬出先	搬出量	構成比	人数
農家	467t	59%	44人
一般市民	301t	38%	1,322人
その他	26t	3%	—
合計	794t		

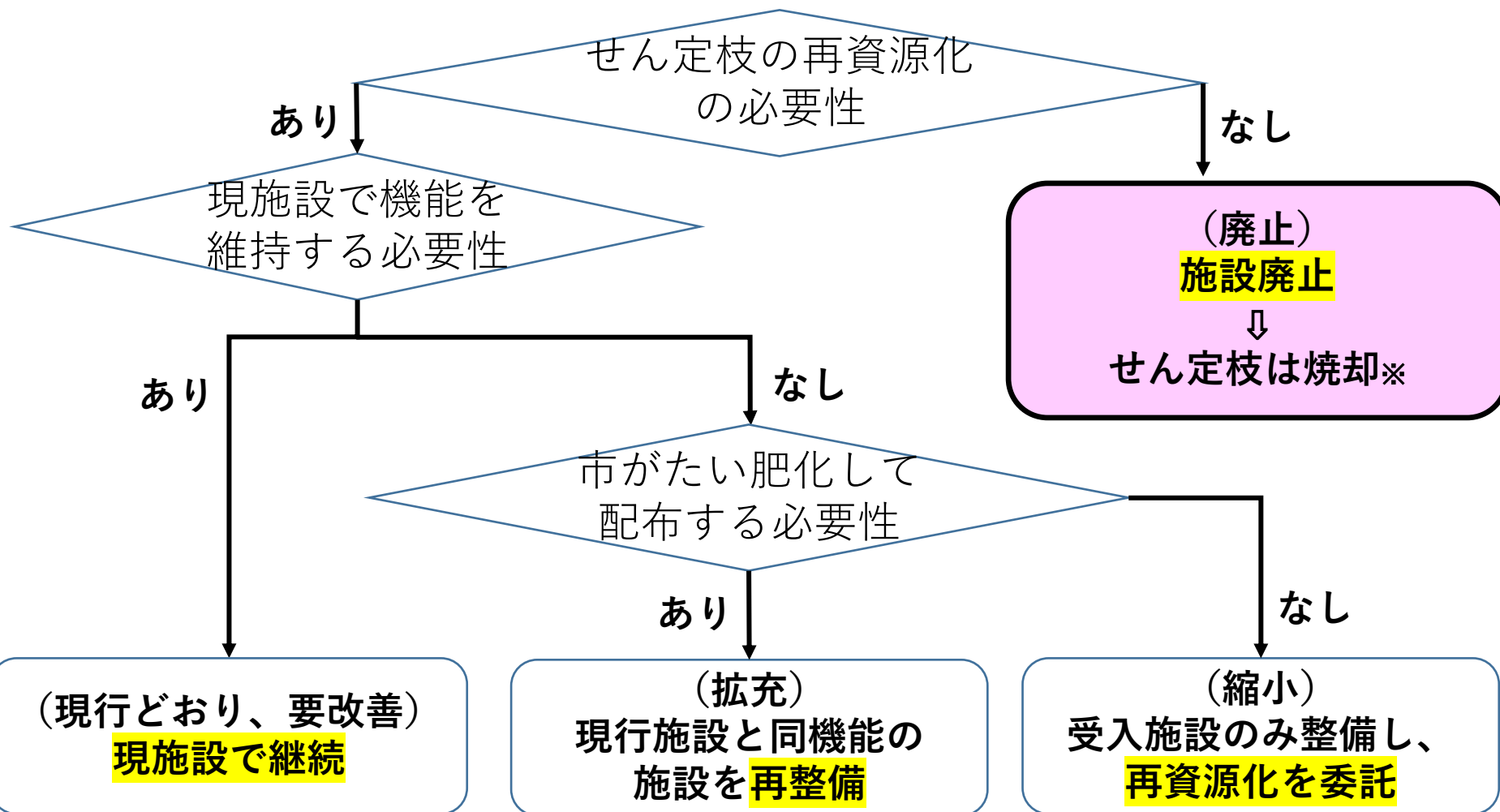
※「一般市民配布」は延べ人数、「その他」はデンパーク等

たい肥を受け取っている市民は年間で1,366人であり、全市民(約19万人)の1%未満



4 事業の課題と論点

(4)論点 せん定枝リサイクルプラント事業の必要性



※ただし、焼却灰の再資源化は実施をしている

来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

4 事業の課題と論点

【参考】

(コストの単位: **百万円**)

パターン	整備コスト	ランニング コスト (20年間)	コスト計	環境 保全型 農業
拡充 (再整備)	1,030 (解体、施設建設)	1,900 (維持管理)	2,930	○
現行どおり、要 改善 (現施設で継続)	340 (設備更新)	1,480 (維持管理)	1,820	△
縮小 (再資源化委託)	385 (解体、保管場所 建設、設備)	1,480 (委託料)	1,865	×※
廃止 (施設廃止)	300 (解体、設備)	120 (焼却コスト)	420	×※

※現状の環境保全型農業の推進に対する寄与度は高くないため、影響は少ない。



- 1 事業の概要など
- 2 事業の活動実績など
- 3 事業の活動指標と成果指標
- 4 事業の課題と論点
- 5 eモニターアンケートの結果【参考】



5 eモニターアンケートの結果【参考】

(1)eモニターアンケートの概要

実施期間 令和8年7月10日～7月17日

対象者 アンケート調査登録制度に登録をしている、安城市内在住・在学の人

回答率 88.4%(744人中658人)

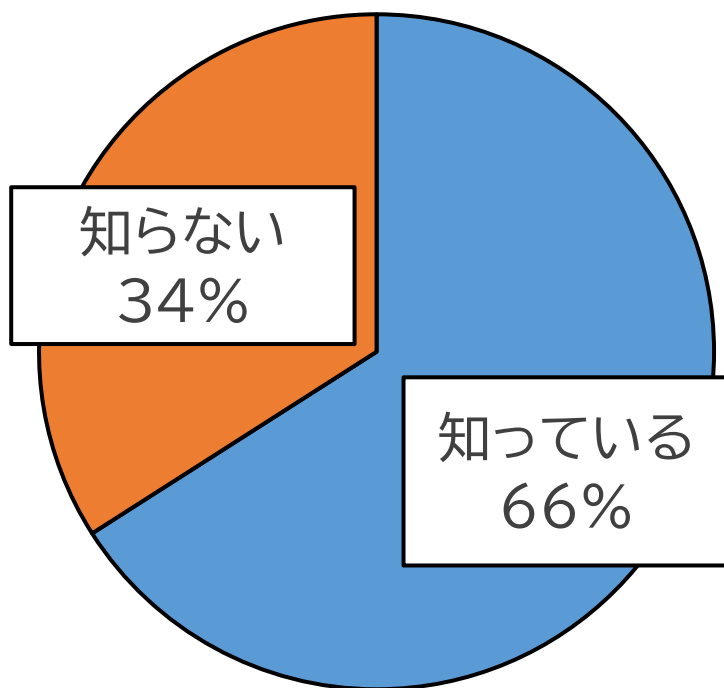
質問 施設の認知や施設のあり方など



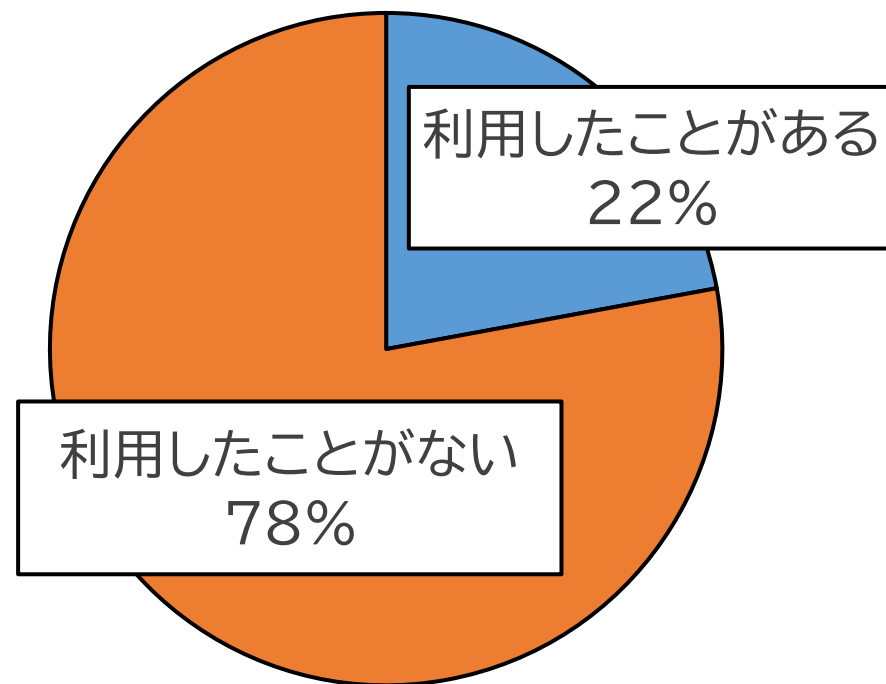
5 eモニターアンケートの結果【参考】

(2)eモニターアンケートの結果

ア せん定枝リサイクル
プラントを知っていますか？



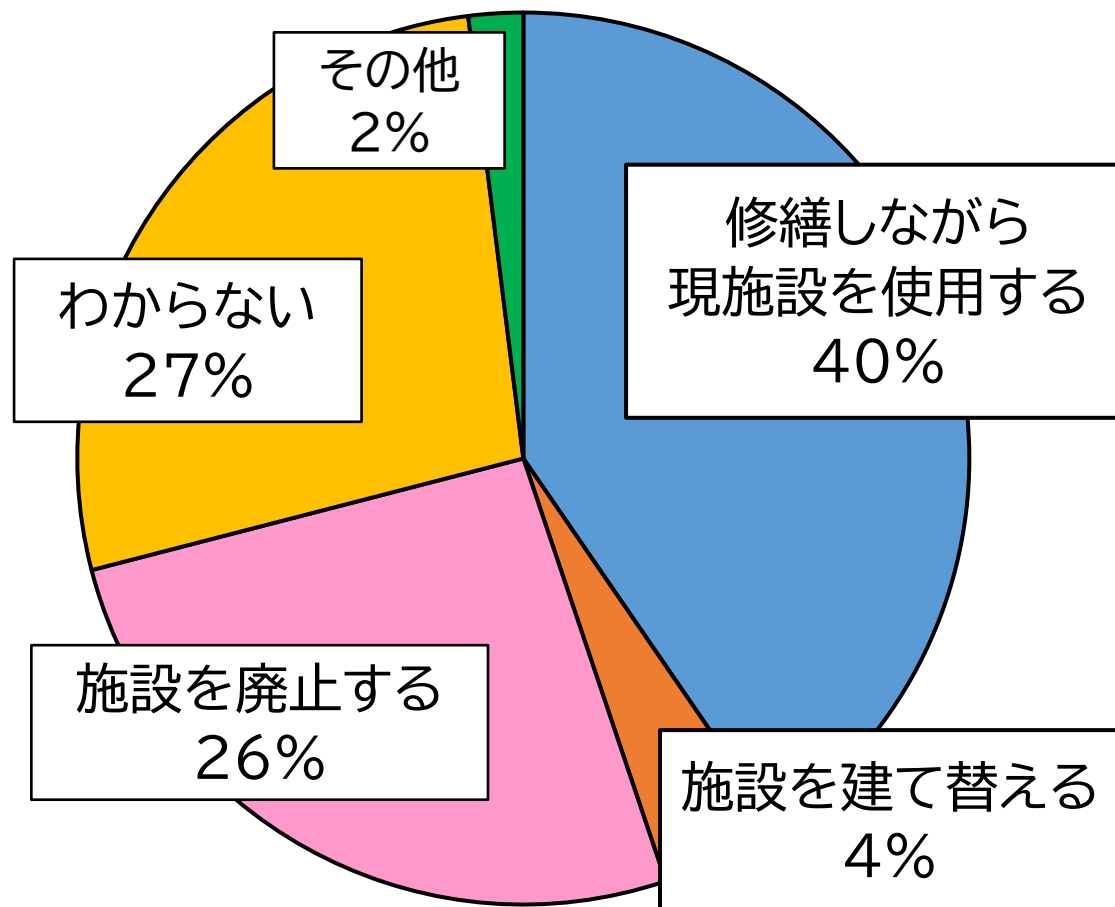
イ せん定枝リサイクルプラント
を利用したことはありますか？



5 eモニターアンケートの結果【参考】

(2)eモニターアンケートの結果

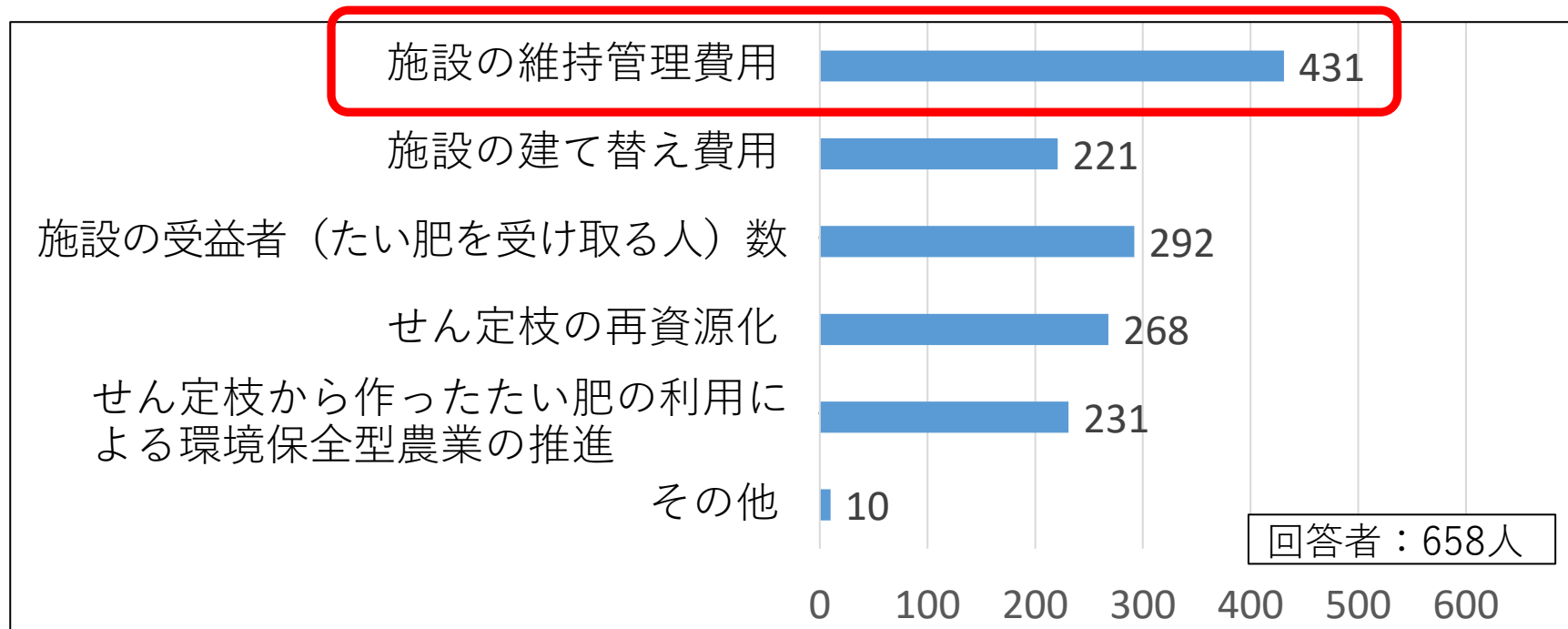
ウ せん定枝リサイクルプラントのあり方についてどう思いますか？



5 eモニターアンケートの結果【参考】

(2)eモニターアンケートの結果

エ せん定枝リサイクルプラントのあり方を考える際に重要と思う事は何ですか。（複数回答可）



その他の意見 ・歳出の削減や歳入の増加に取り組むべき
・多額の費用を投じてでも資源循環に取り組むべき など



5 eモニターアンケートの結果【参考】

(2)eモニターアンケートの結果 オ 自由意見(主だったものを抜粋)

プラントのあり方	自由意見
現施設を使用する	• せん定枝リサイクルプラントはとても助かる。たい肥を作り、利用してもらうのは重要だと思う。 • 環境保全のためにかける費用の妥当性がかなり難しいのは市民でも理解できる。予算との相談になるが、SDGsを含めた環境への配慮を考えると(方針を)決めるのが悩ましい。
施設を廃止する	• 費用対効果を鑑みて、施設を廃止することが最善だと思う。もっと違う、多くの市民に還元される施設に投資して欲しい。 • 取り組み自体は良いことだと思うが採算性があまりにも悪いので、そこを改善する策を練って欲しい。
わからない	• 資源循環と言う点では非常に良い事だと思うが、維持管理や建て替えにこれほど費用がかかるとは知らなかった。両立させるのは難しい問題だと感じた。

